

小金井市市民参加推進会議（第69回）次第

日時 令和6年5月29日（水）午後6時30分から

場所 小金井市役所第二庁舎8階801会議室

1 今期の提言に向けて

2 次回推進会議の開催日について

■配布資料

資料1 第9期市民参加推進会議 提言骨子（案）

資料2 第9期市民参加推進会議行程表

■参考資料

若者討議会会議運営委託 実施報告書

「若者等サイレント層の市政への興味・関心を惹起し、継続的な市民参加のための検討」について（骨子案）

－ 第9期市民参加推進会議の提案 －

1 はじめに

第9期市民参加推進会議（以下「会議」という。）は、令和4年12月から令和6年8月まで計6回の会合をもち、「若者等サイレント層の市政への興味・関心を惹起し、継続的な市民参加のための検討」について審議を行ってきた。

小金井市（以下、「市」という。）においては、本提案を基礎として、各施策や事業の実施にあたり、若者等サイレント層を含む多様な市民の意見を反映する仕組みの検討を進め、早期に実現可能な方策を立案されたい。

今回議論する内容などをもとに作成

2 これまでの経緯

市では、市の政策決定に際して多様な方法で市民参加を進めている。市民参加推進会議においても、公募による市民参加の手法や無作為抽出の活用、傍聴環境の整備など、様々な手法について提言し、市民参加について進めてきたところである。

附属機関等への市民参加については、参加者層の偏りや固定化が課題となっていることから、市民参加推進会議において、若者を含むサイレント層の市民参加に焦点をあてて市民参加機会の拡充を中心として議論をしてきた。

今期の会議では、若者等サイレント層の市政への関心の機運を高め、継続的な市民参加に繋がるような方策の検証を目的とし、今まで市政に関心があまりなかった方々がワークショップに参加し、地域課題やテーマに対する課題の解決などを話し合うことで、参加者や周囲の方々が地域や市政に関心を持つきっかけづくりとなるような若者討議会の実施・検証を行った。

これまでの会議の中で出たご意見などを記載

3 議論の内容

若者討議会の実施にあたり、普段、市政に積極的に意見表明をしていない若者等を含むサイレント層が自分たちが住んでいるまちや市政に興味を持ち、市政参加意欲を高めるには、どのような手法が効果的か、どのような点に留意すべきかを中心に議論した。

(1) 若者討議会のテーマ・方向性について

以下のような意見があったため、若者討議会での議論を活性化し、より若者等サイレント層の興味関心を惹起するようなワークショップとなるよう、テーマ・方向性について決定した。

- ・今まで市政に関心のなかった層が参加しやすいようなテーマ設定がよい。
- ・活発に議論しやすいような身近なテーマという方向性。
- ・SNSや広報などの方法論も聞く。
- ・市民参加の原点は主体性。自分が主体的にどう行政と関わっていくか問いかける。
- ・いいところを伸ばすために、なにが自分に出来るのかという視点。

- ・市民参加の入り口としては、テーマは身近な簡単なものにして、お茶などを飲みながら和やかな雰囲気での議論が出来るとよい。
- ・5年後、その先に住みたいと思うまちはどんなまちか、そのために必要なものはなにか、今できることはなにか。
- ・対象年齢の18歳と39歳で5年後のイメージが異なる。など

(2) 運営について

以下のような意見があったため、一過性のイベントとせず持続的な若者等サイレント層の市政参加の礎となるように留意し、ワークショップの企画・設定を行った。

- ・各回1時間半程度だと、議論をする時間があまりない。自分の得意分野に合わせてグループ（テーマ）を選べるとよい。
- ・どうやったら市政に参加してみたいと思うか。なぜ市政に参加してこなかったのか、なぜ情報が届いていなかったのか、なぜ市民参加に関わってみようと思ったのか、今後も継続的に市民参加をするにはどういう手段がいいか、など今後につながるようなアンケートの設問設定を行い、若い方にどうアプローチをしていけばいいか導けるといい。
- ・意見交換をする中で、市政がより身近に感じてもらえるとよい。
- ・サイレント層の掘り起こしのため、参加のハードルをさげることが必要。
- ・実現性を考慮するより、若者目線の自由なアイデアを聞けるといい。
- ・議論をした結果がどういうふうな形でフィードバックされるか。
- ・市の情報を若者に届けるには、どうしたら若者から意見をもらえるか、あるいは広報をどうするか、デジタル技術を活用した支援策。 など

(3) その他

過去の提言を踏まえ、以下の点を反映する運営とした。

会議の名称を漢字だけでなく、柔らかく、わかりやすい副題等（5期）。

- ・1グループは5～6名程度に（6期）。
- ・参加者に一定のインセンティブ（6期）。
- ・議論の成果に対するフィードバックについて（6期）。
- ・大学等協定先（7期）。
- ・地域の個別テーマについて学び、ともに考え、話し合うための若者中心のWS（7期）。
- ・一部または全部の運営を委託し、市と協働でワークショップを実施（7期）。

4 若者討議会の実施

若者討議会会議運営委託実施報告書をもとに、若者討議会の詳細について記載

(1) 実施概要

- ・目的、日程、人数など

(2) 全体像

- ・テーマ「まちの未来像に寄与する若者が起点となるアクション」
- ・最終日は、各班のアイデアを市長や市民参加推進会議に発表し、市長をはじめ、市民参加推進会議委員からのフィードバックを行った。

(3) 募集や実施方法における工夫

- ・募集は公募と無作為。大学等、連携協定先に働きかけを依頼。
- ・申し込みは郵送・窓口・インターネットの選択制。
- ・アンケートはWebでの調査とし、参加者・運営者の手間を削減。
- ・静寂な状態にならないよう、場面に応じてBGMをかける、飲食物を用意するなど
- ・プライバシーと利便性に考慮し、匿名でリアルタイムな情報共有やコミュニケーションをとることが出来るSNS（LINEのオープンチャット）を活用。
- ・どのような気づきや変化があったか振り返る時間を設けた。
- ・グラフィックレコーディングを活用。

5 若者討議会のアンケート結果

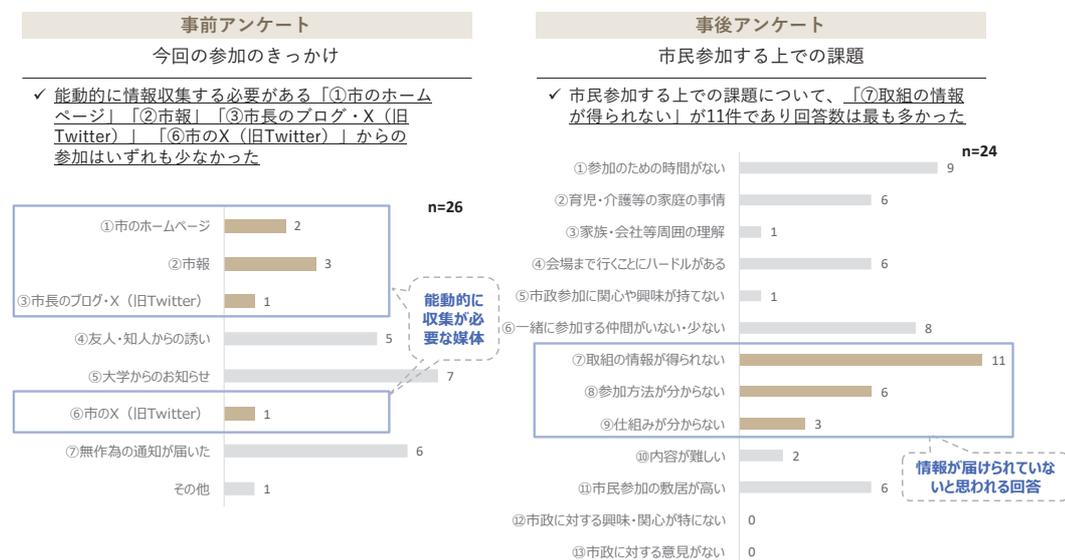
(1) 今回の参加のきっかけ／市民参加する上での課題（実施報告書 p13 より）

実施前においては、市民に対して、わかりやすく情報を発信できていないことが課題として挙げられる。

市民参加する上での課題として、事後アンケートでは「⑦取組の情報が得られない」の回答が最も多く、この他、「⑧参加方法が分からない」や「⑨仕組みが分からない」といった、情報が届けられていないことが要因と思われる項目の回答が確認された。

また、今回の参加のきっかけとして、事前アンケートでは「①市のホームページ」、「②市報」、「③市長のブログ・X（旧 Twitter）」及び「⑥市のX（旧 Twitter）」等、能動的に情報を収集して参加した方は限定的であった。

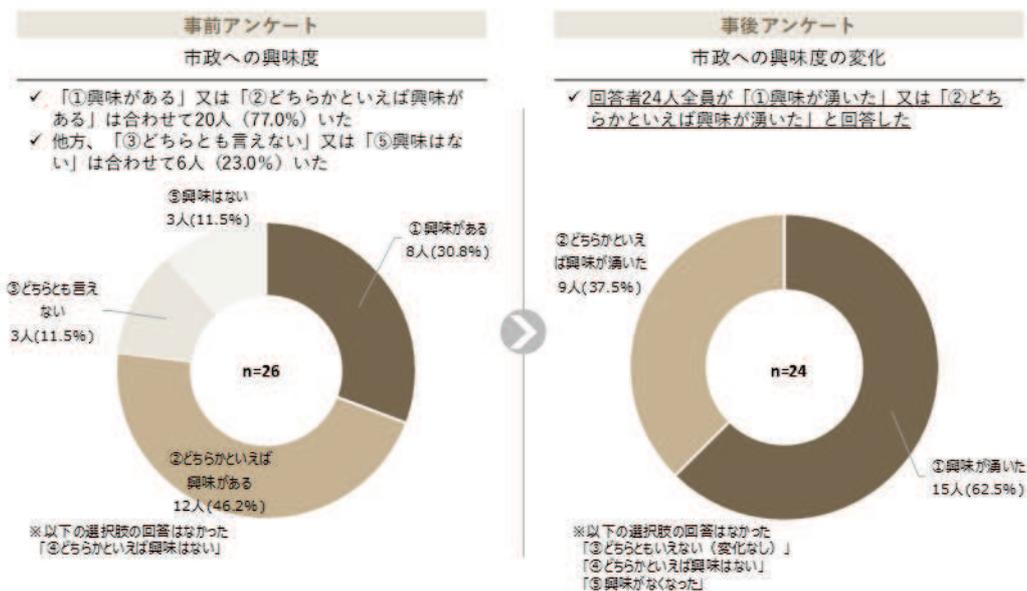
以上より、情報発信手法の工夫が必要と考えられる。



(2) 市政への興味度（実施報告書 p14 より）

「3.2.1.市政への興味度」にて、事前アンケートでは約2割の方が「③どちらとも言えない」または「⑤興味はない」と回答した中で、事後のアンケートでは、全員が「①興味が湧いた」または「②どちらかといえば興味が湧いた」と回答があった。このことから、市政に対する興味喚起に寄与したと示唆した。

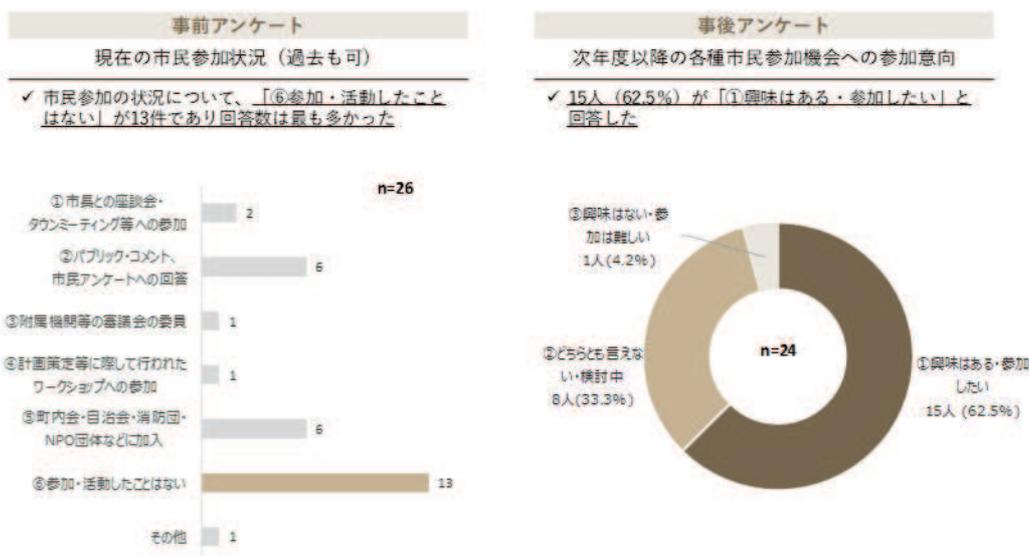
このことについて視点を変わると、市政への興味が増大していることから、若者自身が市民参加について考え、取り組むきっかけづくりが効果的であると言える。



(3) 市民参加状況・今後の意向 (実施報告書 p15 より)

「3.2.3.市民参加の意向」にて、現在の市民参加の状況について、参加者の半数の方がこれまでに市民参加したことがなく、一方で、事後アンケートでは、若者 MIRAI トークへの参加を通じて、今後の各種市民参加機会に対して多くの方が「①興味はある・参加したい」と回答があった。

以上より、今回の取組により市民参加意欲の高まりが見て取れたと考えられる。一方で、醸成した機運を維持・拡大し、継続的に市政に興味を持ってもらえるよう、市民参加の機会を促進することが重要である。



6 課題

- (1) 情報発信における課題（実施報告書 p13）
→情報が効果的に届いていない（例）
- (2) 市民参加機会の課題（実施報告書 p14）
→市政に興味を持つきっかけとなる機会の工夫が必要（例）
- (3) 今後につなげる方策の課題（実施報告書 p15）
→継続的な市民参加機会の促進が必要（例）

若者討議会を実施して見えてきた「課題」等について推進会議で議論・整理し、「6 課題」に記載
正副委員長と調整の上、次回お示しする

7 提言

- (1) 情報発信
→ターゲットに届くような発信、無作為抽出の強化、多様なチャンネルでの周知（例）
- (2) 市民参加の裾野を広げる方策
→長期総合計画、みんなのタウンミーティング、各種市民参加の機会（例）
- (3) 今後につなげる方策
→継続的な(2)のアクションに繋がる方策

「7 提言」に「6 課題」に対する方策等、具体的な提言内容を記載
今回議論した内容をもとに、提言のたたき台を作成し、正副委員長と調整の上、次回お示しする

第9期市民参加推進会議行程表

	第8期推進会議行程表		第9期推進会議行程表（予定）
1回目（第58回） 令和2年7月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状の交付、正副委員長の互選 ・市民参加条例の概要説明 ・市民参加条例運用状況等（附属機関の委員等） ・市民参加の事例紹介（小金井市、他市） 	1回目（第65回） 令和4年12月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状の交付、正副委員長の互選 ・市民参加条例の概要説明 ・市民参加条例運用状況等（附属機関の委員等） ・第9期市民参加推進会議の議題について
2回目（第59回） 令和2年10月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加の理想像・目指す姿について ・課題と解決策の洗い出し 	2回目（第66回） 令和5年7月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加条例運用状況等（附属機関の委員等） ・第9期市民参加推進会議の議題について ・若者討議会について
3回目（第60回） 令和3年4月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・課題と解決策の洗い出し ・提言に向けた検討 	3回目（第67回） 令和5年12月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・若者討議会について
4回目（第61回） 令和3年7月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加条例運用状況等（附属機関の委員等） ・提言に向けた検討 	4回目（第68回） 令和6年2月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・若者討議会について ・提言に向けた検討
5回目（第62回） 令和4年2月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・提言に向けた検討 	5回目（第69回） 令和6年5月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・提言に向けた検討
6回目（第63回） 令和4年4月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・提言に向けた検討（提言文面の確認） 	6回目（第70回） 令和6年8月予定	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加条例運用状況等（附属機関の委員等） ・提言に向けた検討（提言文面の確認）
7回目（第64回） 令和4年6月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加条例運用状況等（附属機関の委員等） ・提言に対する市長意見について ・第8期のまとめ 	7回目（第71回） 令和6年11月予定	<ul style="list-style-type: none"> ・提言に対する市長意見について ・第9期のまとめ